

2021年度 通期: 2021年4月~2022年3月

決算説明会

2022年5月10日

蝶理株式会社





1 2021年度決算概要	P. 2
2 中期経営計画の進捗	P.15
3 ご参考	P.31



2021年度決算概要





POINT

中期経営計画「Chori Innovation Plan 2022 (CIP2022)」第2年度

- ・新たなステージ「経常利益100億円台」に到達、CIP2022進捗順調。
- ・期初予想値を確保、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は過去最高益を更新。
- ·連結事業充実。

業績概要

前期比大幅増収、各段階利益で大幅増益。

全セグメントで増収。化学品セグメントが牽引。Cf. 経常利益ROA: 8.4%(前期4.1%)、ROE(当期純利益): 11.0%(前期2.2%)

財務基盤

• 自己資本比率 48.5% 高水準を維持

株主還元

- ・期末配当金は2021年5月11日公表通り。
 - ▶期末配当42円/株 年間配当84円/株(配当性向30.3%)

トピックス

- 2022年4月4日東京証券取引所の新市場区分スタート。当社は「プライム市場」へ移行。
 上場子会社として、1)独立社外役員の比率1/3以上を確保、2)ガバナンス委員会(独立社外取締役が過半数)を設置済み。
- 2022年4月基幹システム刷新のための全社業務変革プロジェクト始動。ERP導入により経営管理の高度化と生産性の向上を推進。





POINT

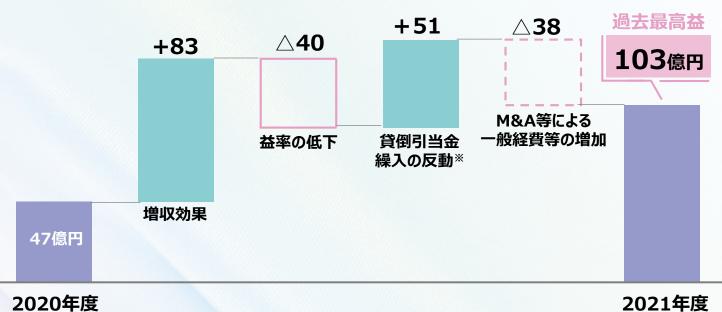
- 新型コロナウイルス感染症のまん延長期化、物流問題の発生等によりサプライチェーンが混乱し、国内・世界経済は終始不安定な情勢下で推移。国内では製造業に持ち直しの兆しが見られたが、個人消費は低迷。 期末にかけ地政学リスクがクローズアップ。
- 売上高は化学品市況の回復等により大幅増収。増収効果に加え、前期に計上した 貸倒引当金繰入額51億円(当期計上なし)の反動により、化学品セグメントを主に大幅増益。 (中国債権問題は2020年度に全額引当処理済み)

(単位:億円)	20年度	21年度	増減額	期初予想	達成率
売上高	2,162	2,841	+679	2,800	101.5%
売上総利益	264	307	+43		
販売費及び一般管理費	227	213	-14		
営業利益	37	93	+57	95	98.2%
経常利益	47	103	+56	100	102.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	12	68	+56	68	100.2%

^{※20}年度の販売費及び一般管理費には貸倒引当金繰入51億円を計上しております。



経常利益の増減要因 (単位: 億円)



※20年度、中国化学品製造会社グループに対して、貸倒引当金繰入額51億円を計上

四半期 業績推移

				HEROCK - DAY						
		2	2020年度				2	2021年度		
(単位:億円)	1Q	2Q	3Q	4Q	年間累計	1Q	2Q	3Q	4Q	年間累計
売上高	490	532	552	589	2,162	607	694	758	783	2,841
営業利益又は損失	-9	25	24	-3	37	26	23	26	20	93
経常利益又は損失	-7	25	25	3	47	29	24	29	21	103
(除く、貸倒引当金繰入額)	18	25	25	29	97					
親会社株主に帰属する 当期純利益又は損失	-12	14	16	-6	12	23	17	19	10	68





POINT

- 株式会社STX(2022年1月1日付でスミテックス・インターナショナルより商号変更、以下、同じ。) の新規連結子会社化等により、増収。
- 個人消費の低迷による衣料品分野の低調な推移に加え、原材料価格の高騰の影響等を受け、減益。

(単位:億円)	20年度	21年度	増減額	増減率
売上高	901	1,155	254	+28.2%
経常利益(セグメント利益)	39	30	-9	-23.1%

堅 調 合繊原料·衛生材

低 調 国内衣料関連



化学品事業

POINT

- 全般的に堅調に推移。特に有機化学品、無機化学品及びファインケミカル分野が好調。
- ・増収効果による売上総利益の増加に加え、前期に中国の化学品製造会社グループに対する貸倒引当金 繰入額51億円を販売費及び一般管理費に計上したこと(当期の計上なし)の反動により、大幅増益。

(単位:億円)	20年度	21年度	増減額	増減率
売上高	1,233	1,642	408	+33.1%
経常利益(セグメント利益)	-3	74	77	_

堅調会般好調有機・無機化学品
ファインケミカル復調電子材料



機械事業

POINT

- 欧米州・アフリカ等における自動車の需要回復の影響等を受け、販売は堅調。
- アラブ首長国連邦の取引先に対する回収遅延債権発生に伴う貸倒引当金繰入739百万円(*)により、経常損失6百万円。

(単位:億円)	20年度	21年度	増減額	増減率
売上高	27	43	16	+57.4%
経常利益(セグメント利益)	7	-0	-7	_

(参考)取扱高 400億円

堅 調

車輛

損失

回収遅延債権に対する貸倒引当金計上

(*)当該取引の概要

取引先の名称 PLATINUM CORPORATION FZE および RELIANCE COMMODITIES DMCC の 2 社取立遅延のおそれのある債権総額 7,399百万円

⇒株式会社日本貿易保険(NEXI)の貿易保険を付保(填補率90%)しており、 債権総額の免責分10%相当の739百万円を貸倒引当金に計上

形態別売上高



POINT

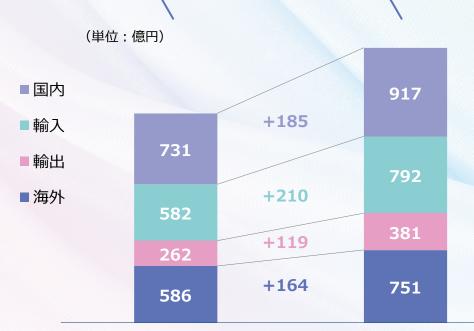
• 貿易比率: 67.7%(前期比+1.5%)

国内売上高:繊維事業・化学品事業ともに増収

• 貿易取引:全セグメントにおいて増収

売上高2,162売上高2,841貿易取引1,431貿易取引1,924(貿易比率)66.2%(貿易比率)67.7%

売上高 +679貿易取引 +493(貿易比率) +1.5%

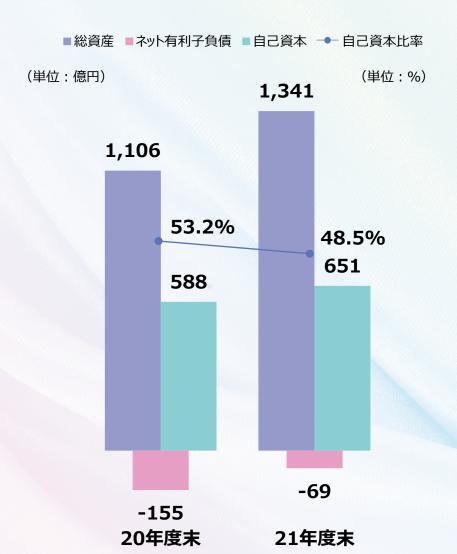


貿易取引 輸入売上高 海外から日本国内への売上高 輸出売上高 日本国内から海外への売上高 海外売上高 海外取引の売上高

国内売上高 日本国内仕入の日本国内への売上高

CHORI

財政状態 サマリー



財務健全性

(単位:億円)	20年度末	21年度末	増減
総資産	1,106	1,341	+235
ネット有利子負債	-155	-69	+86
自己資本	588	651	+63
自己資本比率	53.2%	48.5%	-4.7%

収益性·資本効率

(単位:億円)	20年度末	21年度末	増減
ROA (経常利益ベース)	4.1%	8.4%	+4.3%
ROA (当期純利益ベース)	1.1%	5.6%	+4.5%
ROE (当期純利益ベース)	2.2%	11.0%	+8.8%



財政状態 連結B/S

POINT

- 大幅増益により純資産増加。
- 増収に伴い売上債権、仕入債務は大幅増加。
- 在庫はコンテナ不足による物流混乱回避のため積み増し。

総資産増加

(単位:億円)	20年度末	21年度末	増減
現金及び預金・預け金	178	122	-56
受取手形及び売掛金	561	743	+181
棚卸資産	122	221	+99
その他	43	53	+9
流動資産合計	905	1,139	+233
有形固定資産 無形固定資産	33	44	+11
投資その他の資産	167	158	-9
固定資産合計	201	202	+2
資産合計	1,106	1,341	+235

(単位:億円)	20年度末	21年度末	増減
支払手形及び買掛金	396	522	+126
短期・長期借入金	23	53	+30
その他	99	115	+17
負債合計	518	690	+173
資本金	68	68	-
資本剰余金、他	510	559	+49
その他の包括利益累計額	10	23	+13
非支配株主持分	0	0	+0
純資産合計	588	651	+63
負債純資産合計	1,106	1,341	+235





POINT

● 営業キャッシュ・フロー:売上債権・棚卸資産の増加等により、-23億円

財務キャッシュ・フロー:配当金の支払等により、-40億円 Cf.株式会社STXへのM&A実施等により、現金及び現金同等物は-56億円も高水準を維持

	(単位:億円)	20年度	21年度	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー		59	-23	-82
投資活動によるキャッシュ・フロー		-4	2	+6
財務活動によるキャッシュ・フロー		-9	-40	-31
換算差額		-0	6	+6
キャッシュ・フロー合計		46	-56	-102
現金及び現金同等物の期末残高		176	120	-56



2022年度業績予想

POINT

- 地政学リスクの増大、中国のゼロコロナ政策によりサプライチェーンの混乱は長期化。 それらを背景に商品市況や為替の変動幅は拡大し、以前にも増し不透明、不確実。
- 中期経営計画「Chori Innovation Plan 2022」を着実に推進。 2022年度は中期経営計画の最終年度。

当初目標:売上高 2,800億円 経常利益 110億円 経常利益ROA 8%以上 当期純利益ROE 11%以上

業績予想: 売上高 3,300億円 経常利益 120億円 経常利益ROA 9.0% 当期純利益ROE 12.0%

(単位:億円)	21年度実績	22年度予想	増減額	増減率
売上高	2,841	3,300	+459	+16.2%
営業利益	93	115	+22	+23.3%
経常利益	103	120	+17	+16.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	68	82	+14	+20.4%



配当金

① 配当の基本方針

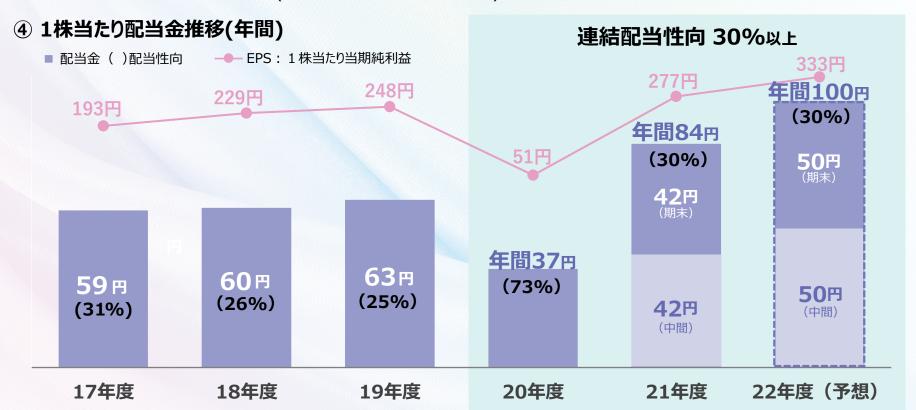
- 成長戦略への投資資金の確保に留意しつつ、機動的な利益還元と経営・財務の安定性確保の観点から 親会社株主に帰属する当期純利益の水準に応じた業績連動型配当を実施。
- 配当方針: 2020年度から配当性向を25%以上から『30%以上』へ引き上げ。

②2021年度配当金

• 期初公表通り中間配当42円、期末配当42円を実施し、年間配当は84円。

③2022年度配当予想

• 年間配当予想は16円増配の100円(中間配当50円、期末配当50円)。





2 中期経営計画の進捗

Chori Innovation Plan 2022

~2020-2022年度~

新たなステージ(経常利益100億円台常態化)への基礎固め



「Chori Innovation Plan 2022」(以下、「CIP2022」)の進捗

基本戦略

連結経営基盤強化

次世代型ビジネスモデル創出

コーポレート・ガバナンス

人的基盤強化

コンプライアンス

高機能・高専門性を基盤として、 ~ グローバルに進化・変化し続ける企業集団 ~

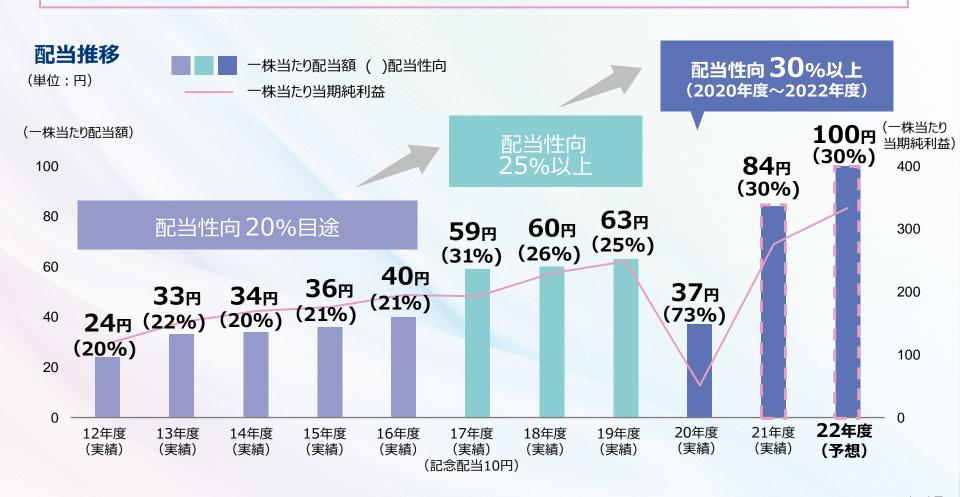
(単位:億円)	20年度実績	21年度実績	22年度業績予想	CIP2022 最終年度計画
売上高	2,162億円	2,841億円	3,300億円	2,800億円
経常利益	47億円	103億円	120億円	110億円
親会社株主に帰属する当期純利益	12億円	68億円	82億円	73億円
ROA(経常利益ベース)	4.1%	8.4%	9.0%	8%以上
ROE(当期純利益ベース)	2.2%	10.5%	12.0%	11%以上

株主還元



配当の基本方針

成長戦略への投資資金の確保に留意しつつ、機動的な利益還元と経営・財務の安定性確保の観点から 親会社株主に帰属する当期純利益の水準に応じた業績連動型配当を実施。



事業別戦略の進捗(繊維事業)



連結経営基盤強化

次世代型ビジネスモデル創出

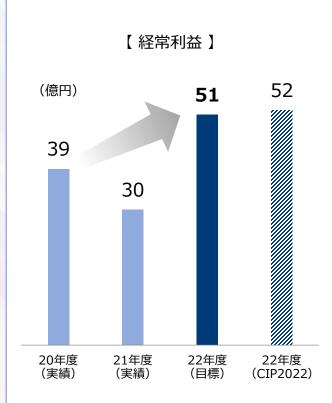
コーポレート・ガバナンス

コンプライアンス

人的基盤強化

GLOBAL ONE STOP Operation By CHORI

CIP2022最終年度(2022年度)経常利益計画52億円。 …2021年度経常利益実績30億円→2022年度経常利益目標51億円。



繊維総合力の強化【BLUE CHAIN(ブルーチェーン)】 構想

- ・サステナビリティ全般の取組みに対する新コンセプト
- ・再生ポリエステル糸「ECO BLUE®」、高伸縮機能糸「TEXBRID®」など 蝶理オリジナル商材のグローバル提案とマーケティングカの強化
- ・取引先企業との協働、連携強化

【グローバルサプライチェーンマネジメントの拡充】

・合繊を中心とした衣料用途・車輌用途・衛牛材用途の需要の確実な取り込み

2 ㈱STXとのシナジー

- ・アジアでの生産基盤の強化
- ・綿(STX)と合繊(蝶理)での高いシェアを誇る2社の協業により、 素材から製品までの企画・提案機能の拡充

事業別戦略 (繊維事業)



連結経営基盤強化

次世代型ビジネスモデル創出

コーポレート・ガバナンス

コンプライアンス

人的基盤強化

SWOT分析

- ・半工・半商のビジネスモデル
- ・世界有数の繊維産地である北陸産地における(事業)基盤
- ・専門知識を有する国内外の人材
- ・海外牛産拠点を活かした製造~物流一貫型OEM事業展開
- ・グローバルネットワークを駆使した顧客ニーズへの即応力

Strength

- ・川下分野におけるグローバル化への出遅れ
- ・デジタル化への対応遅れ
- ・既存事業分野の陳腐化

Weakness

Opportunity

- ・自動車牛産の回復に伴う、カーシート需要の拡大
- ・衛生意識の高まりによる、衛生材需要の拡大
- ・健康志向の高まりによる、スポーツ衣料の需要の拡大
- ・世界人口増加に伴う、繊維製品市場の拡大

Threat

- ・物価上昇による消費マインドの低迷
- ・グローバルSCMの混乱(中国のゼロコロナ政策の影響)
- ・新興国におけるクーデター・紛争や牛産供給体制の混乱
- ・原料価格・原油価格の高騰や急激な為替変動
- ・組織改革により本部内の横連携が加速し、原料から製品まで一貫型の提案を強化。
- ・蝶理オリジナル商材・環境商材を中心とした豊富なラインナップと中国・ASEANをはじめとする生産地の組み合わせにより、顧客に最適な供給体制を実現。

CHORI

事業別戦略の進捗(繊維事業) ~「BLUE CHAIN」~

連結経営基盤強化

次世代型ビジネスモデル創出

新コンセプト

【BLUE CHAIN (ブルーチェーン) 】 構想

- 「川上から川下まで全体でサステナビリティを考える」 サプライチェーンのサステナビリティ全体最適化を実現する 当社独自のプロジェクト。
- ・取引先企業と協働し、環境に配慮した糸・生地・製品での 取組みを拡大。



取引先との協業例

速染糸「WSI

環境配慮型ポリエステル繊維

小松マテーレ㈱との共同開発。糸作りの工程を変えることで染色時間を大幅に短縮し、 染色段階でのCO2を約30%削減。



自動車向け吸音材プロジェクト

北陸産地で発生する繊維くずを回収し、自動車の吸音材に再 利用する取り組み。処理費用を軽減し、新たな価値を産出。

SDGs推進コーディネーターに採択

福井県繊維協会より、産地の繊維業界への取組みを支援する 「SDGs推進コーディネーター」の指名を受ける。主にリサイ クル取組支援事業での連携を強化。



事業別戦略の進捗(繊維事業) ~サステナビリティ関連事業~

連結経営基盤強化

次世代型ビジネスモデル創出

蝶理の「半工半商

差別化糸

環 境 健康

ECO BLUE®

再生ポリエステル糸

当社の環境配慮型商材の主力商品。回収した使用済ペットボトルを洗浄・粉砕し、 新たな繊維に生まれ変わらせ、貴重な資源を循環。バージン糸に比べ、二酸化炭 素排出量を抑制することで脱炭素に貢献。自社のペットボトルリサイクル設備を 持つことで、トレーサビリティを確保。

TFXBRID®

高伸縮機能糸

バネ状の分子構造で優れたストレッチ性と伸長 回復性を有し、快適な着心地を実現。おうち時 間の拡大や、ゴルフなどスポーツ人気の高まり なども受け、需要が拡大。



ナチュラルダイ®

自然由来の物で染めた環境配慮型アパレル製品

野菜や果物、コーヒーのしぼりかすなど自然由来 の材料を使った染色技術。昨今のエシカル消費の 拡大に伴い、需要が拡大。



新規商材

シームレスアイテム

丸編み成型のシームレス構造に高伸度の糸を掛け合わせることで100%伸長の製品を開発中。高伸度でかつ柔らかく フィットする構造で、幅広いサイズや体型にフィットするサイズフリー・ジェンダーフリーなアイテム。生産SKUを減 らすことで製品の廃棄ロスをなくし、「つくる責任」の観点でサステイナブルを訴求。



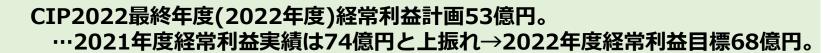
事業別戦略の進捗(化学品事業)



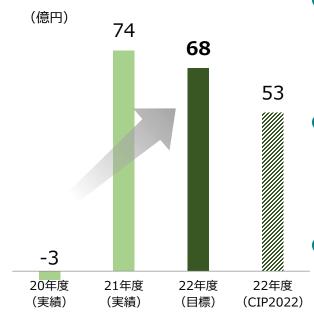
連結経営基盤強化

次世代型ビジネスモデル創出

事業投資型ビジネスモデルへの転換加速



【経営利益又は損失】



● サプライチェーンの強化と新規商材の拡充

新型コロナ禍で激変する市場へ即応、既存事業の拡大と共に 新規商材開発が進捗

② 事業投資・新規開発の強化、推進

電子・電池材料、ヘルスケア、フードマテリアル、グリーンビジネス、デジタル融合 の5領域に注力

❸ ミヤコ化学を軸とした事業子会社の充実、 M&Aによる事業範囲の拡大

事業別戦略(化学品事業)



連結経営基盤強化

次世代型ビジネスモデル創出

SWOT分析

Strength

Opportunity

- 中国を基盤とするグローバルネットワーク ・高機能商材の幅広いラインナップ ・優良な関連子会社とのシナジー ・マーケットインによる商品開発力・商品供給力
- ・高い専門知識
- ・車輌関連材料の需要の拡大
- ・サステナビリティ分野における商材の需要の拡大
- ・環境商材への関心の高まり

・グローバル大手と比較した際の、B to B市場に おける知名度不足と事業規模の小ささ

・新規事業の収益貢献化までの時間軸の長さ

Weakness

Threat

- ・グローバルSCMの混乱(中国のゼロコロナ政策の影響)
- ・ロシアのウクライナ侵攻等のカントリーリスク
- ・市況混迷に伴う、需要供給バランスの崩れ
- ・景気後退による、取引先の製品切替志向の低下

- ・化学品市況全般はコロナ禍の中、回復傾向。
- ・環境や5G等成長分野向けの取組みを加速。海外では中国に加え、ASEAN・インド等 との取組みを強化。



事業別戦略の進捗(化学品事業)

~サステナビリティ関連事業~

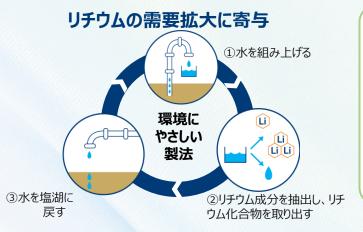
連結経営基盤強化

次世代型ビジネスモデル創出

チリ・リチウム化合物製造プロジェクト参画







(一社)電池サプライチェーン協議会へ加入



Battery Association for Supply Chain

設立: 2021年4月1日

会員:52社(設立時点)

脱炭素社会実現に向けて電池サプライチェーン(電池の材料、 部品およびその原料に関わる産業)の国際標準化や電池エコ システム構築等の活動をするため設立された団体。

生分解性樹脂



育苗シート

- ・土壌水分の蒸発抑制
- · 雑草·害虫抑制
- 乾燥防止
- 病気予防

素材が生分解性樹脂

微生物の働きによって最終的には水と二酸化炭素に分解されるため、回収不 要で、農業効率化に貢献しています。

CLOMA(クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス)へ加入

海洋プラスチックごみを削減するため、廃棄物の適正管理、3R(リサイクル・リデュース・リユース)の取組強化、生分解性プ ラスチックや紙等の代替素材の開発と普及促進に向けて、業種を超え幅広い関係者でイノベーションを加速するため設立さ れた団体。





事業別戦略の進捗(化学品事業) ~サステナビリティ関連事業~

連結経営基盤強化

次世代型ビジネスモデル創出

プラントベースフード(大豆由来の植物性代替肉)

- 世界人口は2050年には100億人に達し、2030年にはタンパク質危機が起こると推測されています。
- ・新たなタンパク源として、当社では大豆・小麦・エンドウ豆などから作られたプラントベースフード(植物 由来代替肉)の普及に取り組んでいます。
- ・non-GMO (非遺伝子組み換え)対応で、品質・安全性の高い原料を海外から調達し、日本人に 合った味付けなどと合わせて提案しています。
 - 本物の肉のような繊維感、ほぐれ感が特長です。

「ファベックス2022 |蝶理ブースの様子

取り組みの狙い

今後予想される食糧不足への対応や家畜生産に伴う森林伐採・水・大量の穀物消費などを軽 減することで、環境問題の課題解決を目指す。



事業別戦略の進捗(機械事業)



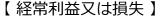
連結経営基盤強化

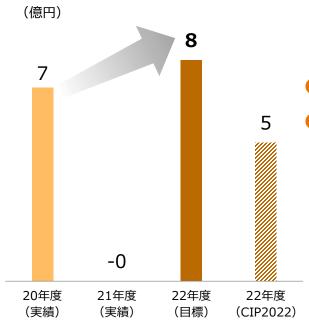
次世代型ビジネスモデル創出

車輌ビジネスのプラットフォームを活用しグローバルマーケットを開拓

CIP2022最終年度(2022年度)経常利益計画5億円。

⇒2021年度経常損失-6百万円(貸倒引当金繰入額を除いた場合の経常利益は7億円)。 2022年度経常利益目標8億円。





- ●世界的な自動車の需要の回復を確実に取り込み
- ❷世界四極(メキシコ・中南米、中東・アフリカ、東南アジア、欧州)+1 (インド) 市場を継続開拓・強化

事業別戦略(機械事業)



連結経営基盤強化

次世代型ビジネスモデル創出

SWOT分析

- ・緻密な情報網とグローバルネットワーク ・個の力を集結した機動力・組織力の向上が課題 ・独自の顧客基盤を活かしたニッチ市場の創出 ・DX化対応へのスピード感 ・市場を熟知した人材による、マーケットイン提案 ・個の力を活かした、グローバルな顧客との関係構築力 Weakness **S**trength Threat **O**pportunity ・世界的な自動車市場の回復 ・アフリカ、東南アジアなど益々発展を遂げる 新興国におけるカントリーリスク、 新興国市場における取り扱いの拡大 パンデミック・クーデター・経済危機など ・エコ・カーへの移行に伴うビジネスチャンスの拡大 ・急激な気候変動による市場の変化 ・車輌ビジネス以外の商材の取り扱いの拡大 ・グローバルSCMの混乱(中国のゼロコロナ政策の影響)
 - ・独自のグローバルネットワークを駆使した事業展開に注力。 新興国のインフラ需要回復も相まって、販売は堅調。
- ・インド等新市場の開拓と商材の拡充により、更なる収益拡大を目指す。

コーポレート・ガバナンス/コンプライアンス



連結経営基盤強化

次世代型ビジネスモデル創出

コーポレート・ガバナンス

コンプライアンス

人的基盤強化

■コーポレート・ガバナンス

POINT

● 2022年4月東京証券取引所の新市場区分がスタート、当社は「プライム市場」へ移行済み。

コーポレート・ガバナンスの充実・強化により更なる企業価値の向上を目指す

- ① ガバナンス委員会の設置
 - 取締役会の諮問機関として、独立社外取締役が過半数を占めるガバナンス委員会 (任意の委員会)を設置。(2020年3月25日設置)

ガバナンス委員会

取締役・執行役員の選解任 後継者計画・トレーニング

取締役・執行役員の報酬 個別報酬 親会社グループとの 取引等の評価

② 配当政策の充実

③ 役員株式報酬の継続拡充

4 グループガバナンス

- ⑤ 蝶理ブランドの価値向上
- ⑥ CHOI活(全社活動) ···Chori Innovation 活動
- コンプライアンス
- ① 企業倫理の向上
- ③ グローバルリスクマネジメント

- ② 法令違反の撲滅
- ④ 連結子会社への各種監査機能の強化



コーポレート・ガバナンス/コンプライアンス

コーポレート・ガバナンス

コンプライアンス

■コーポレート・ガバナンス

改訂コーポレート・ガバナンスコードへの主な対応状況

原則·補充原則	適合状況	対応内容等
原則1-2④ 投資家向け議決権電子行使プラットフォームの導入	コンプライ	導入済
原則3-1② 英語の資料開示	コンプライ	決算関連資料、株主総会招集通知、Tsumuguレポート等を 英語開示済
原則 4-8 独立社外取締役3分の1以上の選任	コンプライ	2021年6月17日定時株主総会にて3分の1以上選任済(全8名中3名が独立社外取締役)
原則 4-10① 委員会の過半数を独立社外取締役で構成	コンプライ	指名・報酬に関わる諮問機関として「ガバナンス委員会」を 設置済。構成員3人中2人を独立社外取締役が占め、 委員長は独立社外取締役。
原則 4 -11① 取締役のスキルマトリックスの開示	コンプライ	定時株主総会招集通知および有価証券報告書に掲載済
原則 3 -13 気候変動タスクフォース(TCFD)対応	コンプライ (予定)	対応中 (2022年6月コーポレートガバナンス報告書を改訂予定)

人的基盤強化

CHORI

連結経営基盤強化

次世代型ビジネスモデル創出

X

コーポレート・ガバナンス

コンプライアンス

人的基盤強化

人事ポリシー

「人を活かし、人と活きる。 人を育て、人と育つ。人を繋ぎ、人に繋げる」

→人材を最重要経営資源としての位置付け

① 次世代人材育成

活かす

- 人事制度の大幅刷新
- 多様な働き方の実現
- 1 on 1面談によるコミュニケーション 活性化

育てる

- 次世代人材の育成
- ナショナルスタッフの育成
- 女性活躍推進

X

繋ぐ

・グループ内人材の流動化による 蝶理グループ活性化・一体化

② 健康経営の推進

• 健康宣言

グループ社員一人ひとりがかけがえのない最重要の 経営資源であるとの認識に立ち、健康経営の推進を宣言



従業員の健康管理を経営的な 視点で戦略的に取り組み



従業員の健康増進のためスポーツ への積極的な取り組み

【参考】新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

時差出勤・在宅勤務の実施や、社内におけるアクリル板やアルコール消毒液の設置、受付や就業エリアの入り口での体温測定などを行っています。加えて、東京・大阪両本社、北陸支店、岡山出張所のオフィスは、建築物衛生法を遵守して運用されており、一人当たり30㎡/h以上が常に換気されています。



3 ご参考



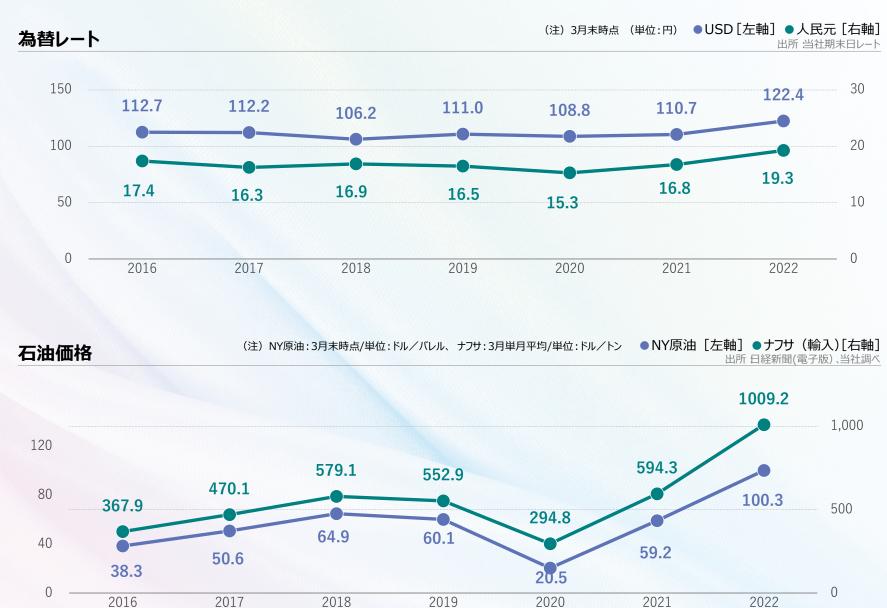


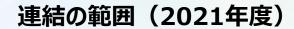


東京証券取引所				
株価 (5/6終値)	1,971円			
単元株	100株			
最低購入代金(5/6現在)	197,100円			
PER (5/6現在)	7.4倍			
PBR(5/6現在)	0.7倍			
時価総額(5/6現在)	485億円			
配当利回り(2022年度予想)	5.1%			



市場動向







2020年度

30 社

11 持分法適用会社

41 合 計

2021年度

33 社 子

持分法適用会社

42 合 計

増減 十1

主な子会社

社名	セグメント			備考	
	繊維	化学品	機械	1佣气	
(株)STX	•			21年6月 M&Aによる子会社化 22年1月 商号変更	
(株)アサダユウ	•			17年7月 M&Aによる子会社化	
ミヤコ化学(株)		•		15年3月 M&Aによる子会社化	
蝶理GLEX㈱		•		13年3月 M&Aによる子会社化、 18年10月 商号変更	
㈱小桜商会		•		18年1月 M&Aによる子会社化	
蝶理マシナリー㈱			•	17年4月 新設分割による分社化	
CHORI AMERICA, INC.	•	•			
蝶理(中国)商業有限公司	•	•		最重要海外拠点	
蝶理(大連)貿易有限公司	•				
CHORI CO., (HONG KONG) LTD.	•	•		18年4月事務所移転	
THAI CHORI CO., LTD.	•	•		ASEAN 主要拠点	
PT. CHORI INDONESIA	•	•		ASEAN 主要拠点	
CHORI VIETNAM CO., LTD.	•			ASEAN 主要拠点	
CHORI COMERCIAL DE MEXICO, S.A. DE C.V.	•			中米拠点	
台湾蝶理商業股份有限公司	•	•			
その他18社 計33社					



あなたの夢に挑戦します。

蝶理株式会社